

◆市長メッセージ

平成23年3月議会、午後の休憩中の出来事だった。窓ガラスが割れ落ち、天井からコンクリートの破片がぼろぼろと落ちてきた。大きく揺れる市長室の中で命の危険を感じた一瞬だった。東日本大震災から10年、その間にも全国いたるところで地震台風と多大な被害と犠牲者を出してきた。そして昨年から続く新型コロナウイルス感染症のまん延が世界中を震撼させている。自然から学ぶことが多い10年間でもあった気がする。市民の皆さまに常に自助・共助・公助のお話しをしてきている。自らの命は自らが守る。これから尚一層の自覚を持ち行動をしなければいけないと考えます。



しかし、大田原市は厳しい面ばかりではありませんでした。新庁舎の完成をはじめとし、学校教育環境改善も急ピッチで進み充実してまいりました。

しばらく空いていた工業団地にも、企業の誘致が進み雇用の改善がみられてきました。新たな大田原市の飛躍の礎は、ほぼでき上がった10年でもありました。今後は防災、経済、教育、医療福祉の充実した強い基盤の上に、超少子高齢化社会に積極的に取り組んでまいります。準備は整いました、いかなる社会の変化があろうとも市民の皆さまの悩み・苦しみに寄り添い、夢・希望の実現を支援できる大田原市にこれからも進化してまいります。

市民の皆さまのアフターコロナに向け、元気で新たな希望の未来が開かれることを祈念します。

市民の皆さまのアフターコロナに向け、元気で新たな希望の未来が開かれることを祈念します。